

2013年3月期 決算説明会資料



新田ゼラチン株式会社

2013年5月16日

1. 事業概要
2. 2013年3月期実績
3. 2014年3月期見通し
4. 中期経営計画
5. 巻末資料

＜ご案内＞

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

1. 事業概要

会社概要

会社名	新田ゼラチン株式会社（ Nitta Gelatin Inc. ）
代表者	代表取締役社長 曾我 憲道（そが のりみち）
本 社	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創 業	1918年(大正7年)1月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード 4977）
資本金	1,577百万円
連結売上高	287億円（2013年3月期）
連結従業員数	624名（2013年3月末現在）

事業セグメント・部門と主要製品

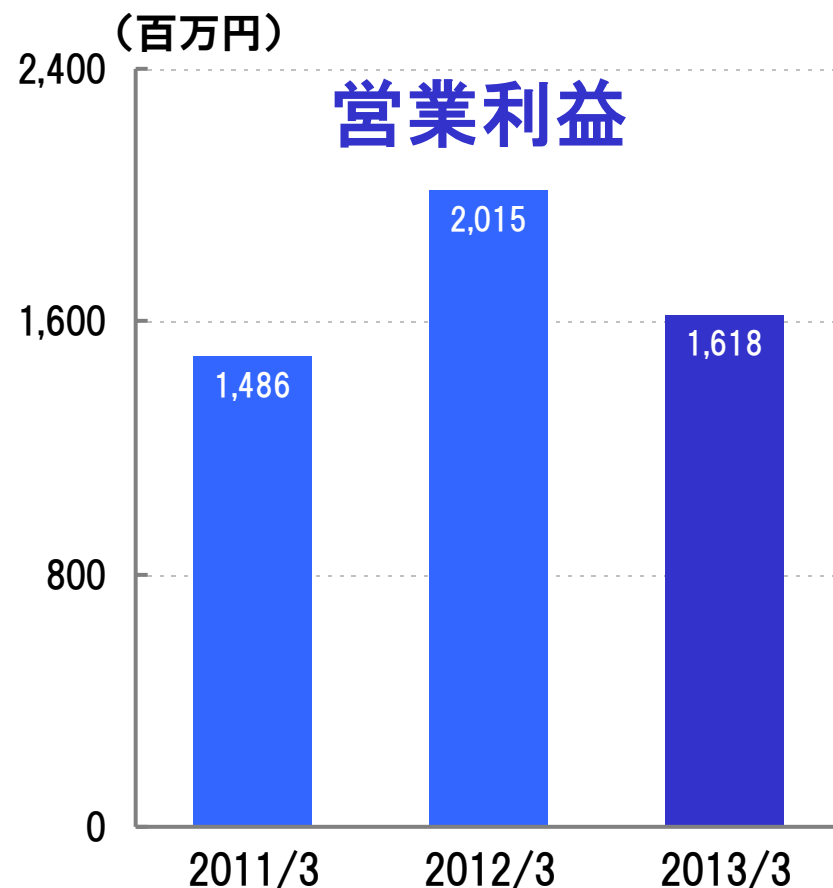
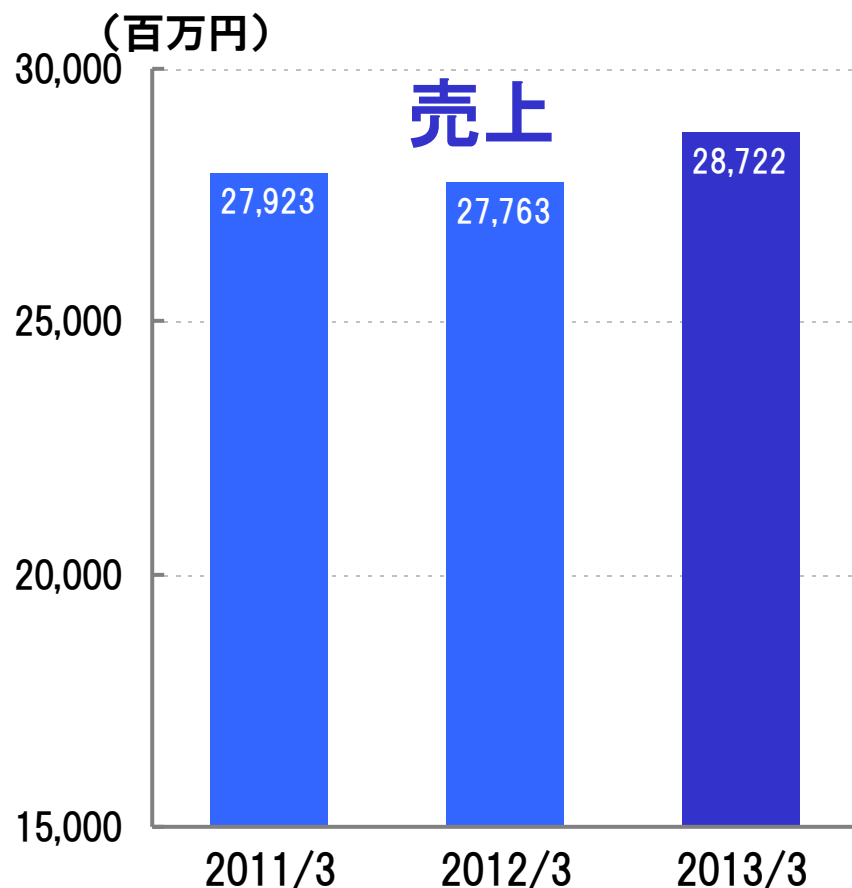
事業セグメント	部門	製品	用途
コラーゲン 素材事業	ゼラチン	食品用	グミやマシュマロ等の製菓、各種食品、 コンビニ惣菜、冷凍食品 等
		カプセル用	ハード・ソフトカプセル、ミニカプセル 等
		写真用	カラーフィルム、レントゲンフィルム、 印画紙 等
	ペプチド	コラーゲンペプチド	栄養補助食品、サプリメント、 機能性栄養食品 等
	ケーシング	コラーゲンケーシング	ソーセージ、フランクフルト、スナック、 サラミ 等
フォーミュラ ソリューション 事業	ライフ サイエンス	コラーゲン、ゼラチン	組織培養用研究試薬、人工皮膚、 人工骨、DDS、細胞移植 等
	食品材料	食用ゲル化剤 各種品質安定剤	デザートゼリー、総菜、畜肉製品等
	接着剤	シーリング材(高機能樹脂)	スマートホン、携帯電話、タブレット、 デジタルカメラ 等
		ホットメルト形接着剤	包装、製本、建材、衛生材料 等
		にかわ系接着剤	製本、紙器、紙工 等

2. 2013年3月期実績

業績推移 ①

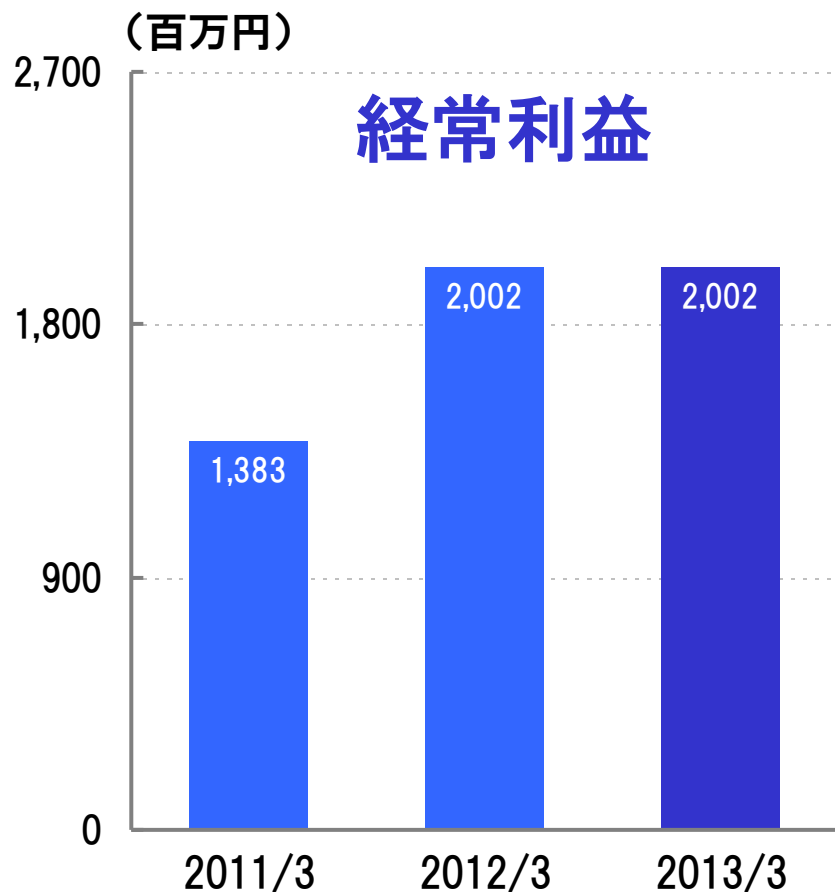
- 海外: 需要増加により伸長
- 国内: デフレ不況により低迷

- 原料価格上昇
- 日本でのエネルギーコスト上昇

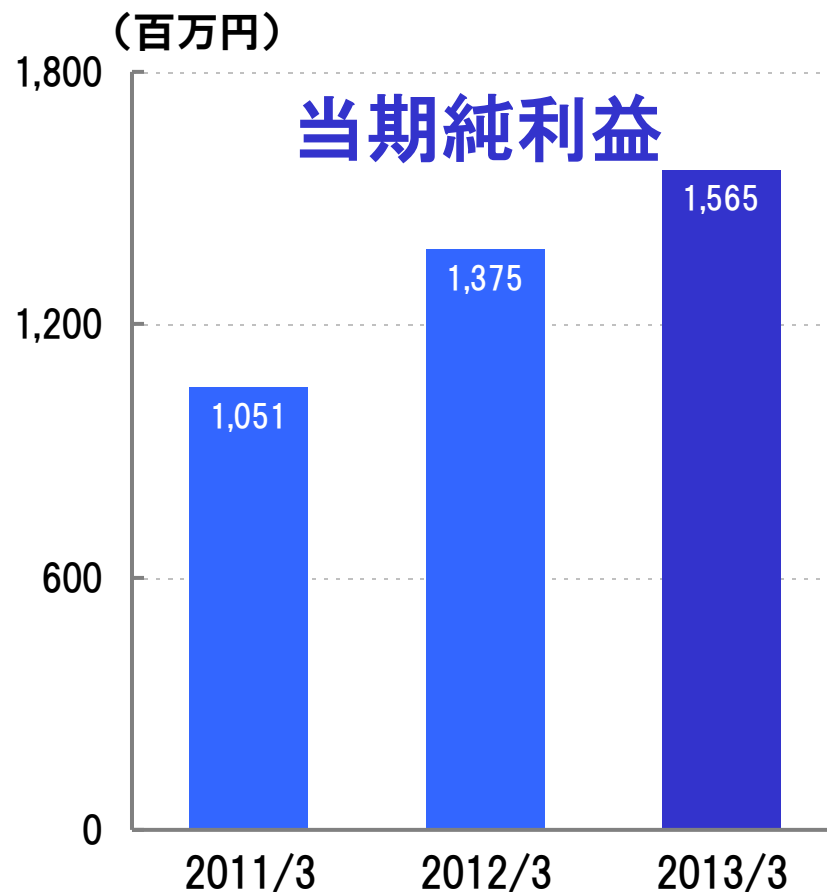


業績推移 ②

- 持分法による投資利益増加
- 為替差益発生



- 税負担の減少



業績予想比

- 売上:写真用ゼラチンの減少
- 営業利益:原料価格上昇、日本でのエネルギーコスト上昇
- 当期純利益:税負担の減少

(百万円)	2013/3 業績予想	2013/3	2013/3	
			増減	増減比
売上高	28,900	28,772	△127	△0.4%
営業利益	2,070	1,618	△451	△21.8%
経常利益	2,100	2,002	△97	△4.7%
当期純利益	1,370	1,565	+195	+14.3%

コラーゲン素材事業

- 前期比:増収、減益
- 前々期比:増収、増益

■ ハイライト

● ゼラチン部門:

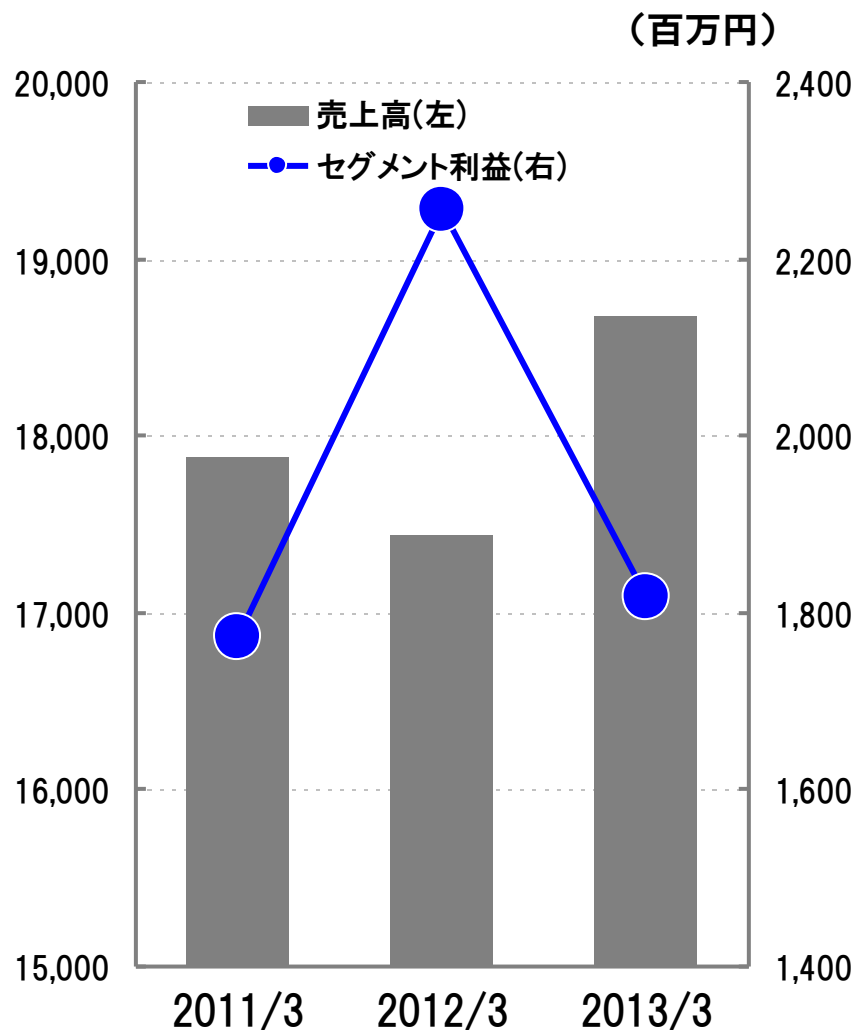
- (国内) ・カプセル用は堅調
- ・食用は前期の需要が沈静化
- ・写真用大幅減
- (海外) ・食用、カプセル用とも需要が旺盛
- ・価格改定

● ペプチド部門:

- (国内) ・他素材との競争
- (海外) ・中国、アジア市場で低迷

● ケーシング部門:

- ・北米販売、中国輸出が好調



フォーミュラソリューション事業

- 前期比:減収、増益
- 前々期比:増収、増益

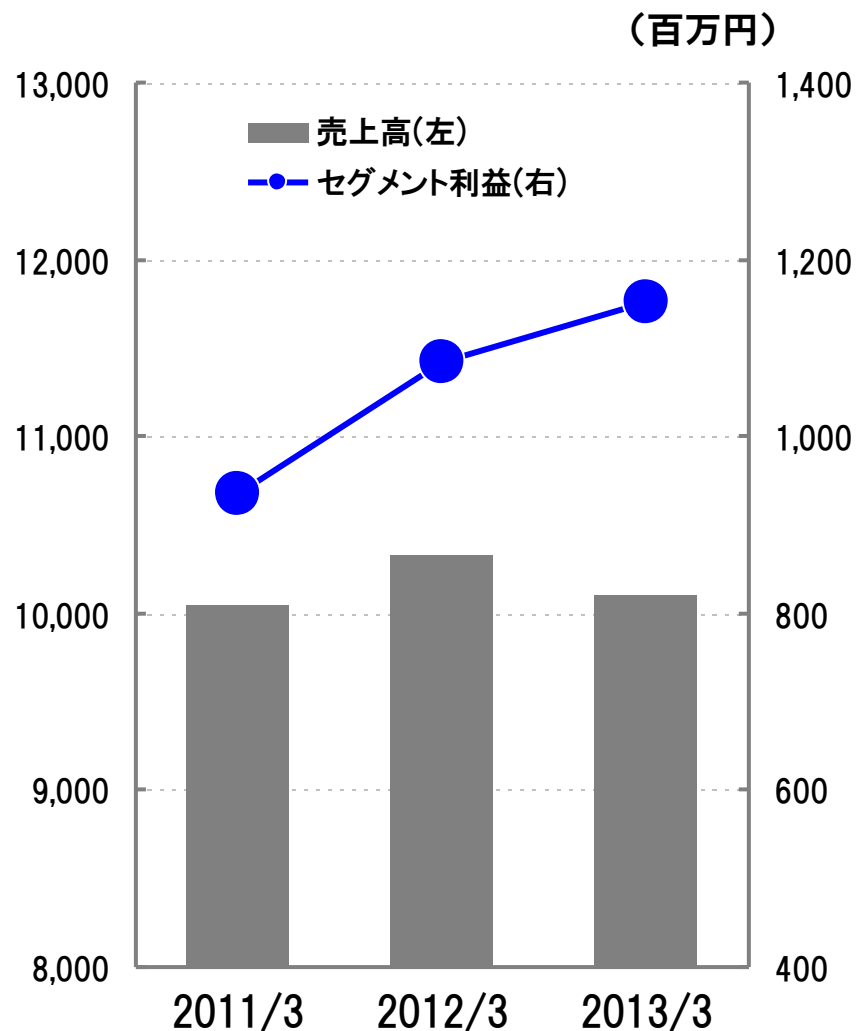
■ ハイライト

● 食品材料部門:

- デザート用ゲル化剤、畜肉製品用品質安定剤が好調
- 総菜用が低迷

● 接着剤部門:

- シーリング材(高機能樹脂)の販売がスタート
- 製本用が減少
- 一部事業譲渡により売上減少



損益計算書 (P/L)

(百万円)		2011/3	2012/3	2013/3	増減
売上高		27,923	27,763	28,772	+3.6%
売上総利益		6,325	6,838	6,691	Δ2.1%
	利益率	22.7%	24.6%	23.3%	—
営業利益		1,486	2,015	1,618	Δ19.7%
	利益率	5.3%	7.3%	5.6%	—
経常利益		1,383	2,002	2,002	Δ0.0%
	利益率	5.0%	7.2%	7.0%	—
当期純利益		1,051	1,375	1,565	+13.8%
	利益率	3.8%	5.0%	5.4%	—

貸借対照表 (B/S)

- 有形固定資産、たな卸資産、投資有価証券が増加 ⇒ 資産が2,077百万円増加
- 利益剰余金、為替換算調整勘定が増加 ⇒ 自己資本比率上昇(34.4% ⇒ 38.6%)

(百万円)	2012/3	2013/3	増減
流動資産	14,935	15,319	+383
現金・預金	2,098	2,278	+180
受取手形・売掛金	6,449	5,839	△609
たな卸資産	5,971	6,831	+860
その他流動資産	417	369	△47
固定資産	8,436	10,129	+1,693
有形固定資産	5,387	6,287	+900
無形固定資産	18	48	+30
投資有価証券	2,055	2,768	+713
その他投資等	975	1,025	+50
資産合計	23,371	25,449	+2,077

(百万円)	2012/3	2013/3	増減
負債合計	15,263	15,481	+217
支払手形・買掛金・未払金	4,865	5,323	+457
有利子負債	7,070	7,030	△40
未払法人税等	387	81	△305
退職給付引当金	2,158	2,276	+118
その他	782	770	△11
純資産合計	8,108	9,968	+1,859
利益剰余金	6,889	8,235	+1,345
為替換算調整勘定	△1,350	△662	+688
その他	2,569	2,395	△173
負債純資産合計	23,371	25,449	+2,077

キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

- 営業CF:税金等調整前当期純利益(1,938百万円)、減価償却費(825百万円)により増加
- 投資CF:有形固定資産取得および関係会社株式取得により支出増加
- 財務CF:社債償還(330百万円)により支出増加

(百万円)	2011/3	2012/3	2013/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,570	568	2,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,094	△733	△1,557
フリーキャッシュ・フロー	475	△165	492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△363	713	△376
現金及び現金同等品の増加額	70	540	180
現金及び現金同等品の期首残高	1,467	1,538	2,078
現金及び現金同等品の期末残高	1,538	2,078	2,258

主要指標

(百万円)	2011/3	2012/3	2013/3
売上高	27,923	27,763	28,772
海外売上比率	29.5%	27.8%	33.6%
営業利益	1,486	2,015	1,618
営業利益率	5.3%	7.3%	5.6%
当期純利益	1,051	1,375	1,565
当期純利益率	3.8%	5.0%	5.4%
自己資本	6,125	8,033	9,820
自己資本比率	28.5%	34.4%	38.6%

トピックス①（新会社紹介）

中国

会社名

北京新田膠原腸衣有限公司

Beijing Nitta Collagen Casing Co., Ltd.

所在地

中国 北京市

設立

2012年9月

事業内容

コラーゲンケーシングの製造販売

出資比率

ニッタホンコンLtd. 70%

北京秋実農業発展有限公司 30%

ベトナム

会社名

Nitta Gelatin Vietnam Co., Ltd.

所在地

ベトナム ロンアン省

設立

2013年1月

事業内容

ゲル化剤の製造販売

出資比率

新田ゼラチン株式会社 75%

Shanghai International Trading Co., Ltd. 25%

トピックス②（マスコミでのゼラチンなど紹介事例）

「ためしてガッテン」

NHK総合テレビ 2月27日

～そのひとふりが料理を変える！魔法の白い粉～

「はなまるマーケット」

TBSテレビ 4月18日

～とくまる 驚きのゼラチン新活用術～

日刊ゲンダイ 3月25日

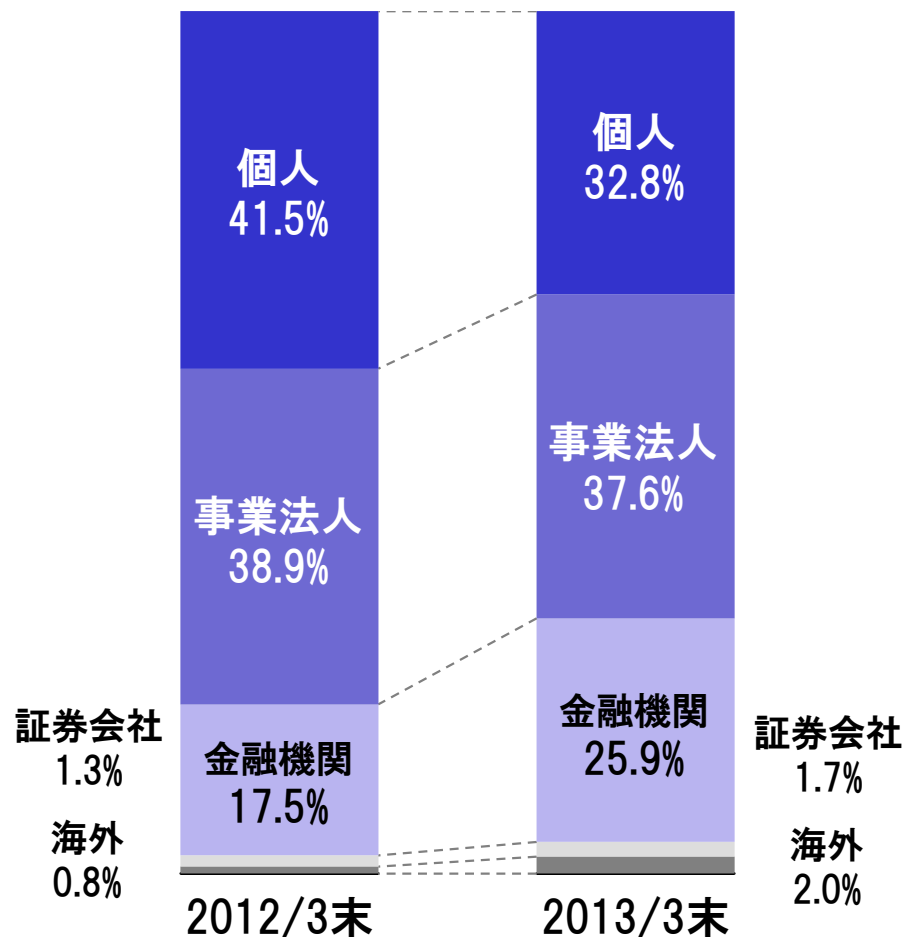
「市場の主演は女子力投資(13)」

～肌ぷるっぷるコラーゲンの新田ゼラチン～

株式分布変化

株式数

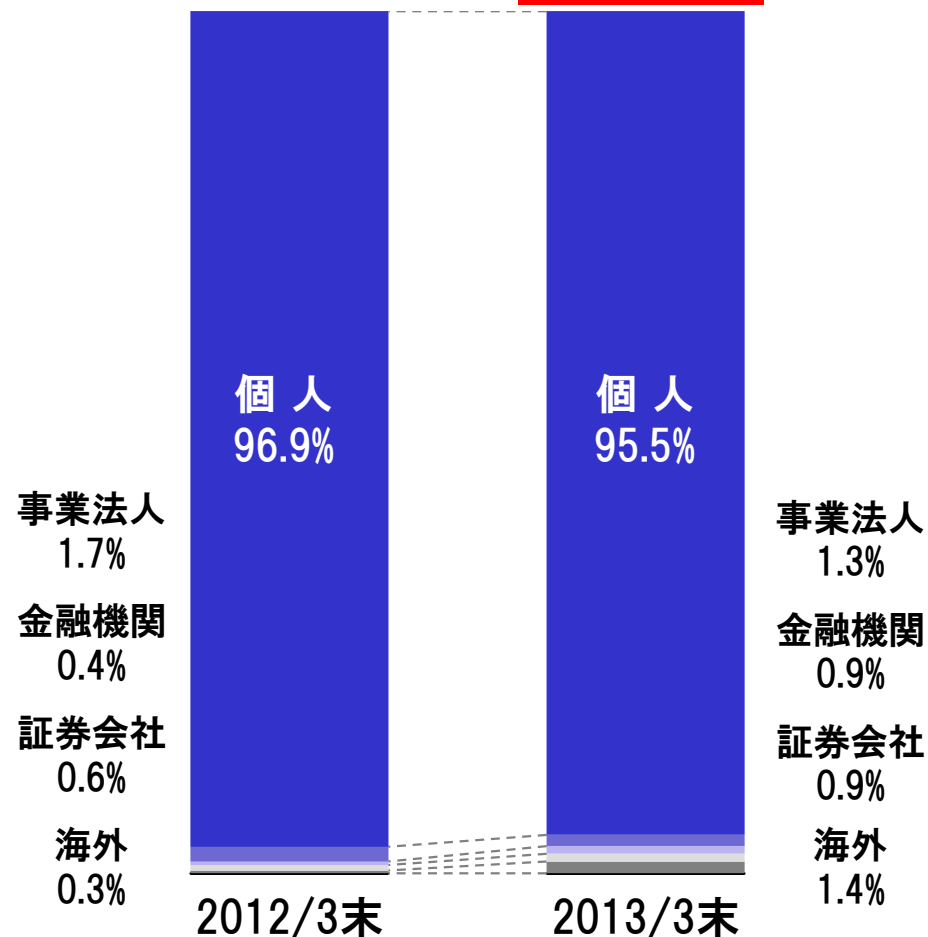
15,770千株



株主数

3,812名

3,014名

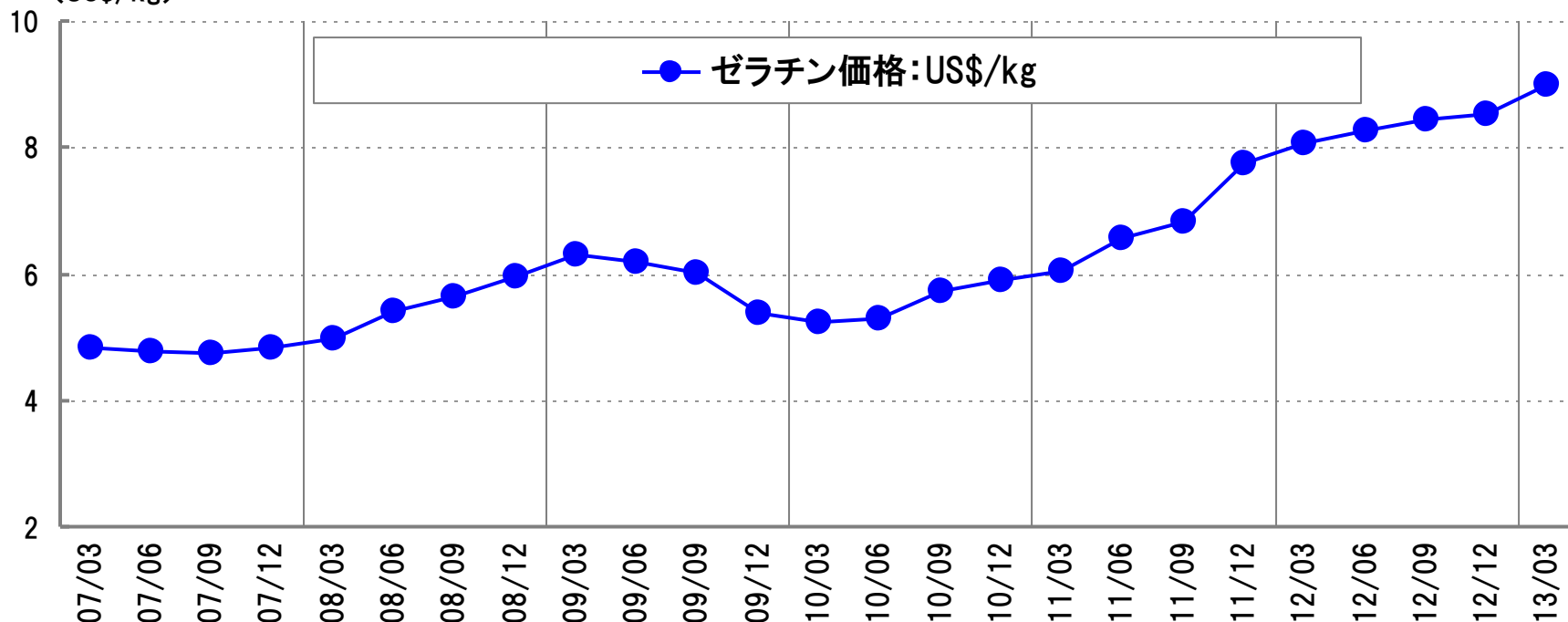


3. 2014年3月期見通し

今期外部環境の認識

- ゼラチンの国際市況は、需要増加、原料タイトを背景に高い水準
- アジア諸国は安定的に経済成長し、各国内需も増加
- 円安への移行による日本での調達コストへの影響
- 日本でのエネルギーコスト上昇

ゼラチン価格
(US\$/kg)



2014年3月期見通し

(百万円)		2012/3	2013/3	2014/3 (計画)	12/3期比	13/3期比
売上高		27,763	28,772	32,700	+17.8%	+13.7%
売上総利益		6,838	6,691	7,000	+2.4%	+4.6%
	利益率	24.6%	23.3%	21.4%	—	—
営業利益		2,015	1,618	1,700	△15.7%	+5.0%
	利益率	7.3%	5.6%	5.2%	—	—
経常利益		2,002	2,002	1,890	△5.6%	△5.6%
	利益率	7.2%	7.0%	5.8%	—	—
当期純利益		1,375	1,565	1,380	+0.3%	△11.9%
	利益率	5.0%	5.4%	4.2%	—	—

各セグメント別売上見通し

(百万円)	売 上			セグメント利益		
	2013/3 (実績)	2014/3 (計画)	増減	2013/3 (実績)	2014/3 (計画)	増減
コラーゲン素材事業	18,674	22,200	+18.9%	1,817	2,070	+13.9%
フォーミュラソリューション事業	10,097	10,500	+4.0%	1,151	960	△16.6%
(消去又は全社)	—	—	—	△1,349	△1,330	—
合 計	28,772	32,700	+13.7%	1,618	1,700	+5.1%

投資計画

(百万円)

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3 (計画)
設備投資額	946	673	1,193	3,400
減価償却費	898	841	825	900

2014/3 主要な設備投資の概要

(百万円)	投資額	投資効果(目標)
北米ケーシング製造設備更新	400	生産性向上と品質向上
北米ペプチド生産工場建設	1,200	生産規模1,000トン(2014年3月期稼働)
その他	1,800	中国ケーシング生産販売体制整備、 シーリング材事業拡大設備、 省エネ・生産効率化設備 等

株主還元

＜予定配当金＞

2013年3月期： 期末配当 8円（普通配6円＋記念配2円）

2014年3月期： 12円（中間普通配6円＋期末普通配6円）

＜株主優待制度＞

今後も継続予定

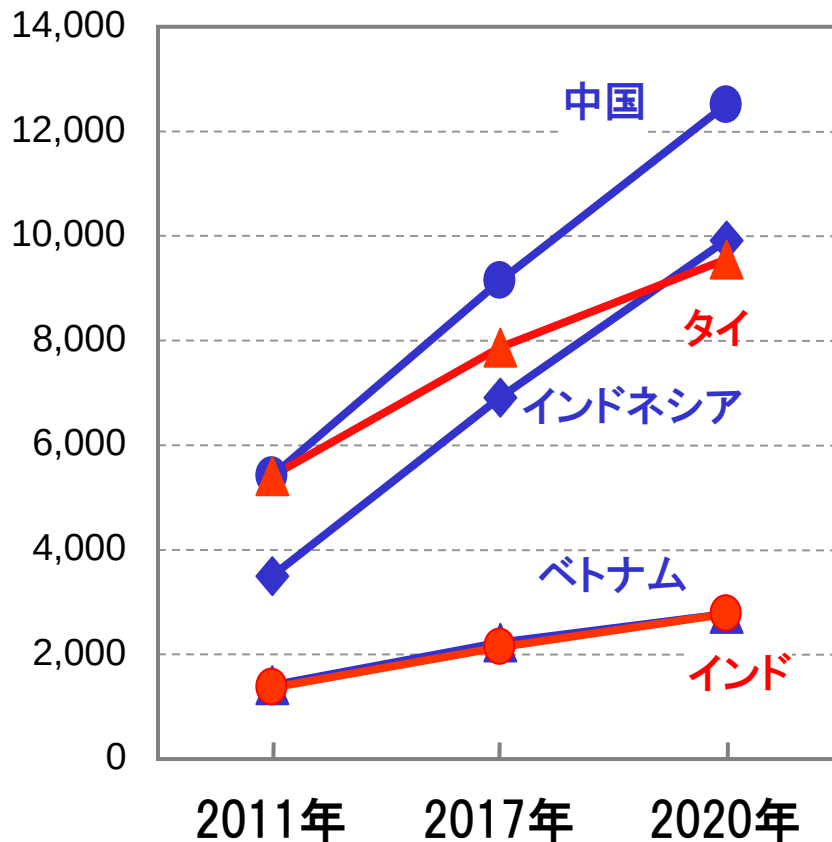
実施内容

- 100株～500株未満：
1,000円相当の（自社商品用）お買物優待券
- 500株以上：
3,000円相当の自社商品（健康食品等）

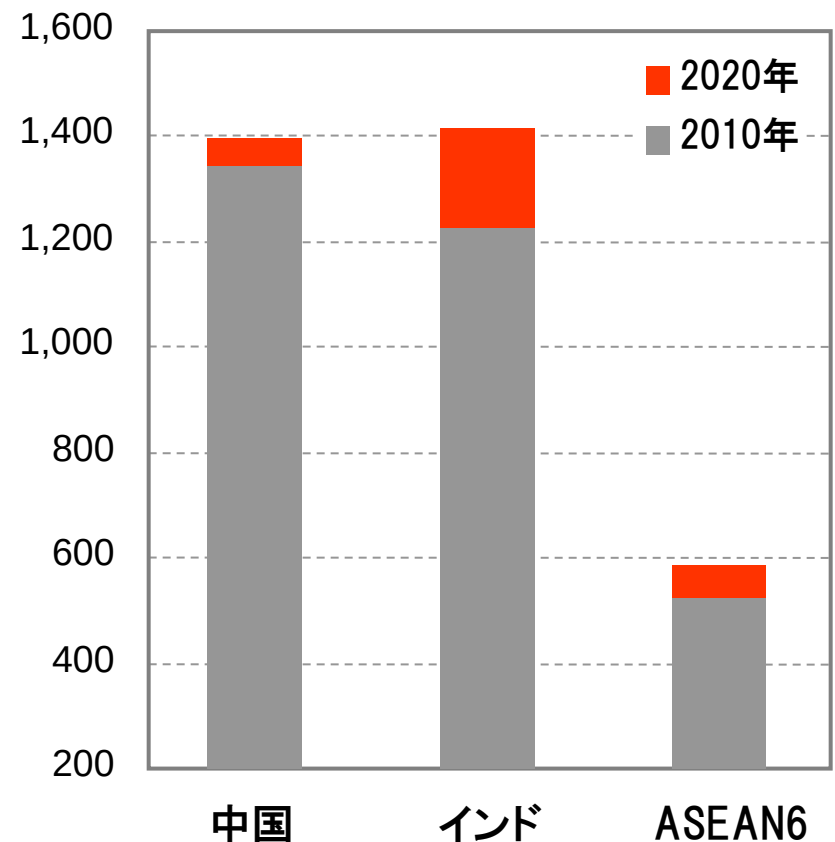
4. 中期経営計画

成長するアジア経済

一人当たりGDP予測



[百万人] 将来人口推計

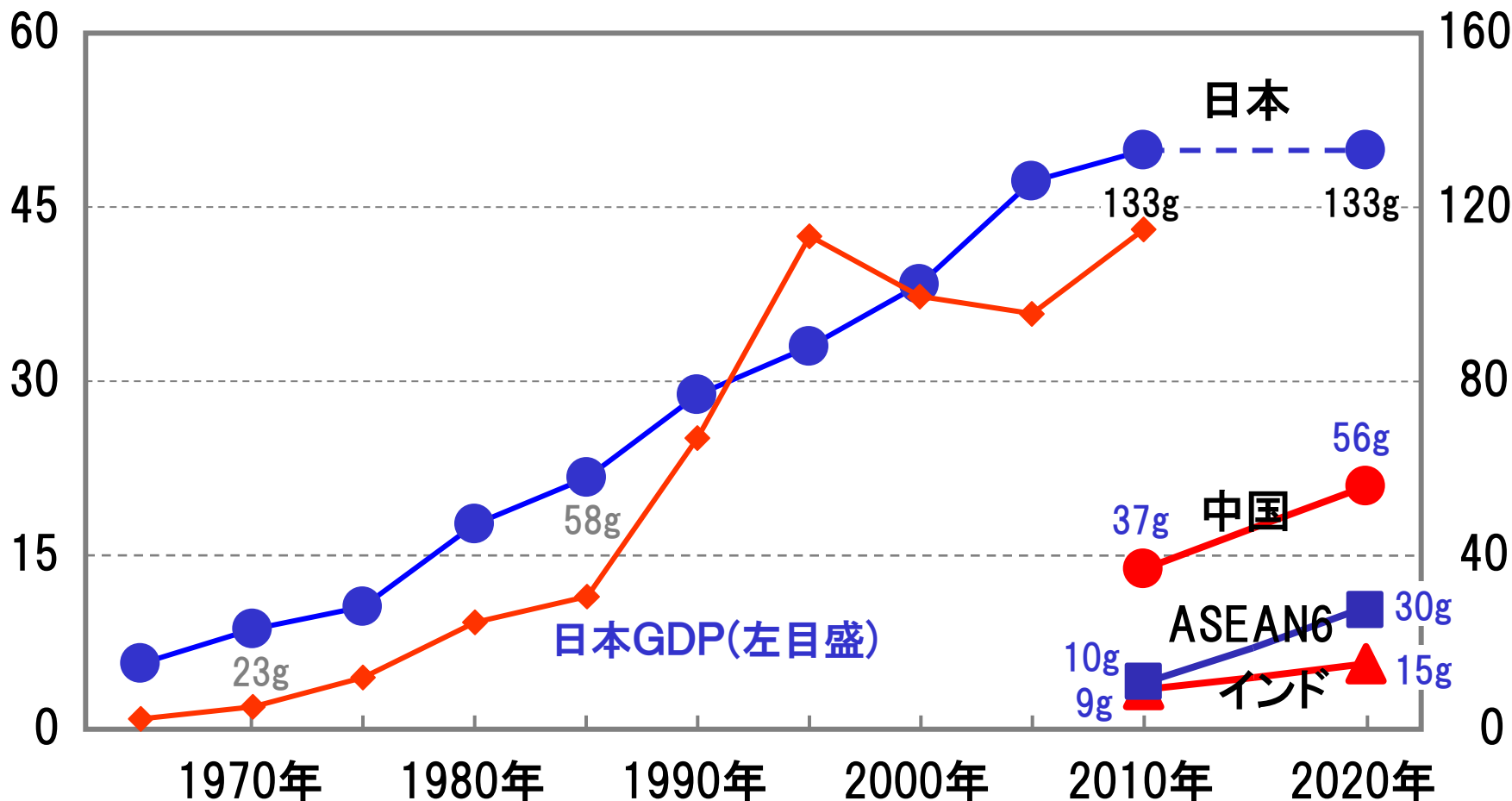


出典: IMF-World Economic Outlookより推計

1人当たりのゼラチン消費量

(GDP:千USドル)

(消費量:g/1人)



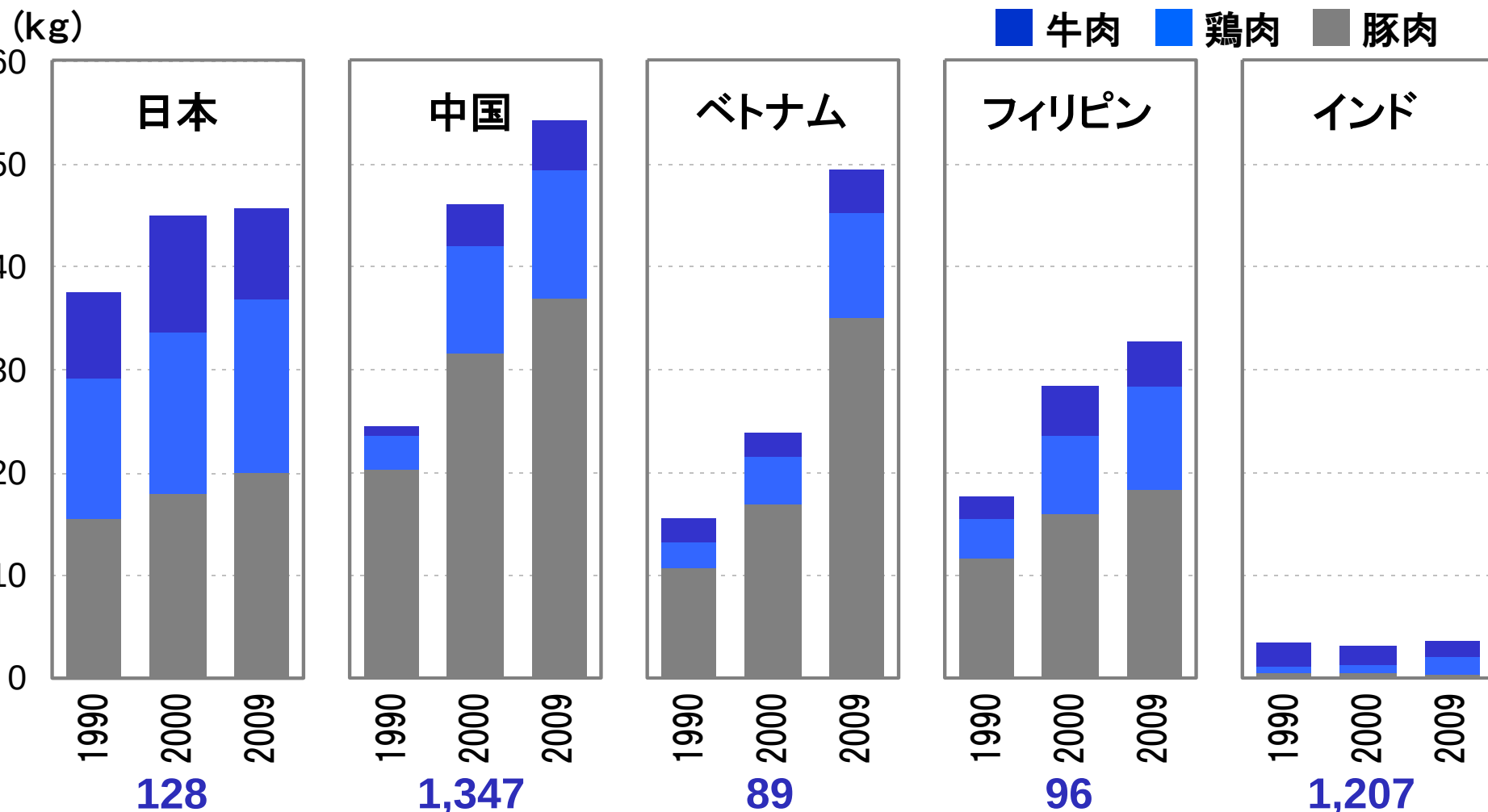
出典: 当社推計, IMF-World Economic Outlook

世界のゼラチン需要見通し

単位 (トン)

	2010年	2020年	成長率
日本	17,000 →	17,000	0%
アジア	72,500 →	129,000	78%
世界	346,000 →	425,000	23%

アジアでの1人当たり年間食肉消費量



2011年人口(単位:百万人)

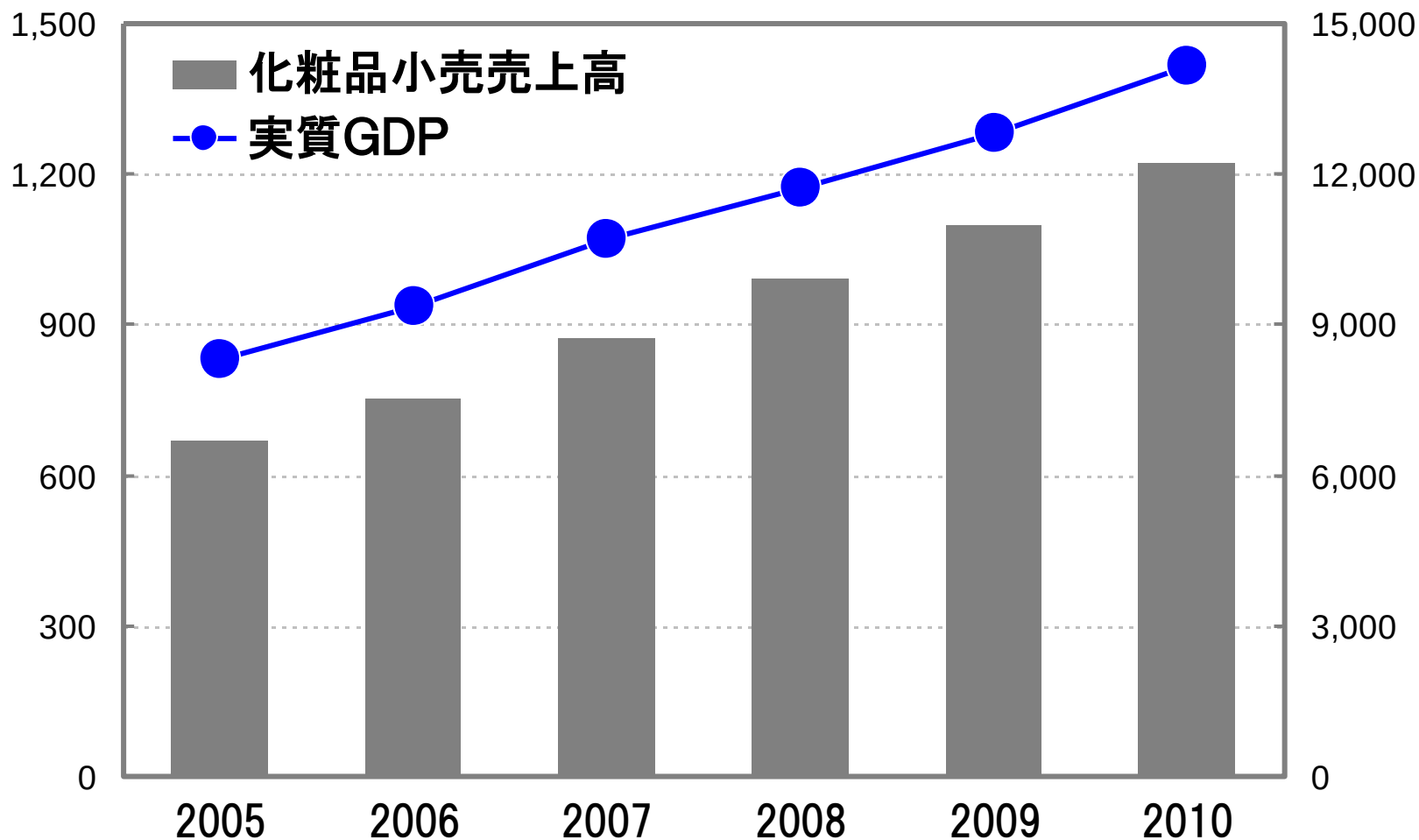
2013年3月期決算説明会資料 (2013.5.16)

出典:FAOSTAT,IMF-World Economic Outlook

中国の実質GDPと化粧品市場推移

(小売売上高: 億元)

(実質GDP: 億元)



出典: Euromonitor International, IMF-World Economic Outlook

基本戦略



Win out !!
in growing Asian market
成長市場のアジアで勝ち抜く

【5つの戦略課題】

- (1) グローバルコストの実現
- (2) 供給力の増強と販売拡大
- (3) 開発営業の推進
- (4) 製品開発と基礎研究の推進
- (5) グローバルマネジメントと人材育成

スローガン



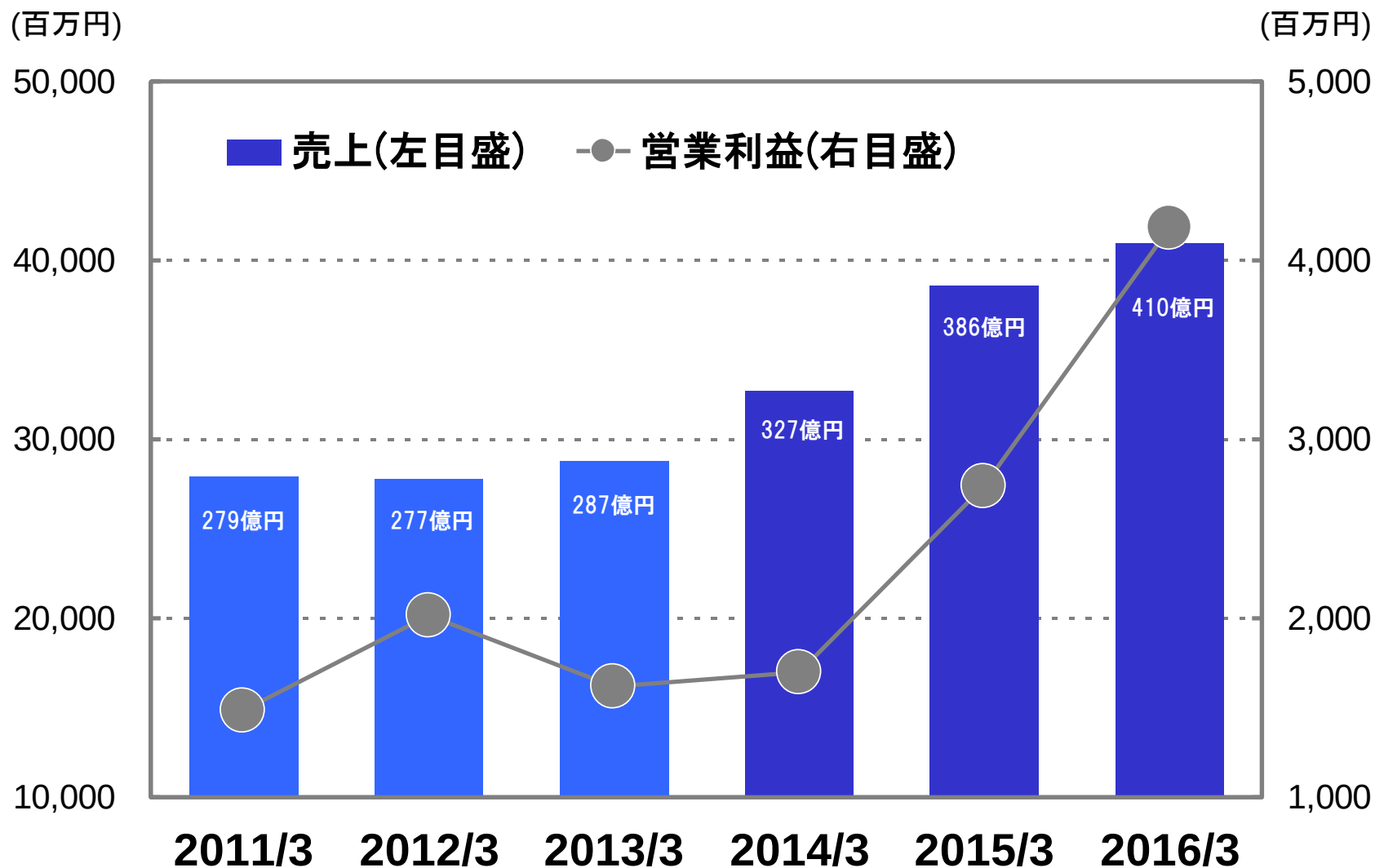
Amaze the World!

世界をあっと思かせる会社

**Be More Dynamic,
Quicker,
with Team Play**

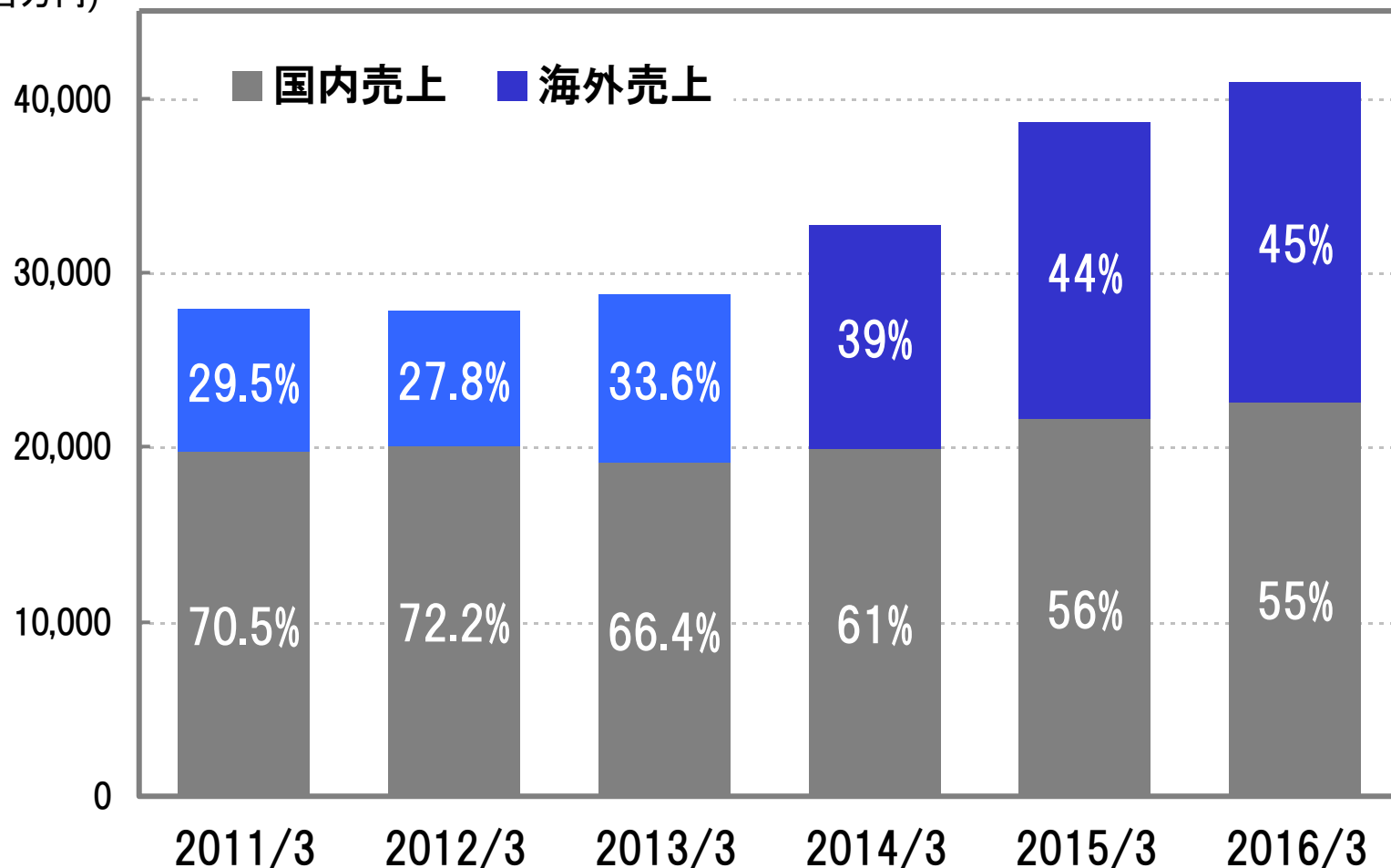
**社員一丸となって、
もっとスピーディに、
もっと大胆に世界と戦おう**

中期経営計画



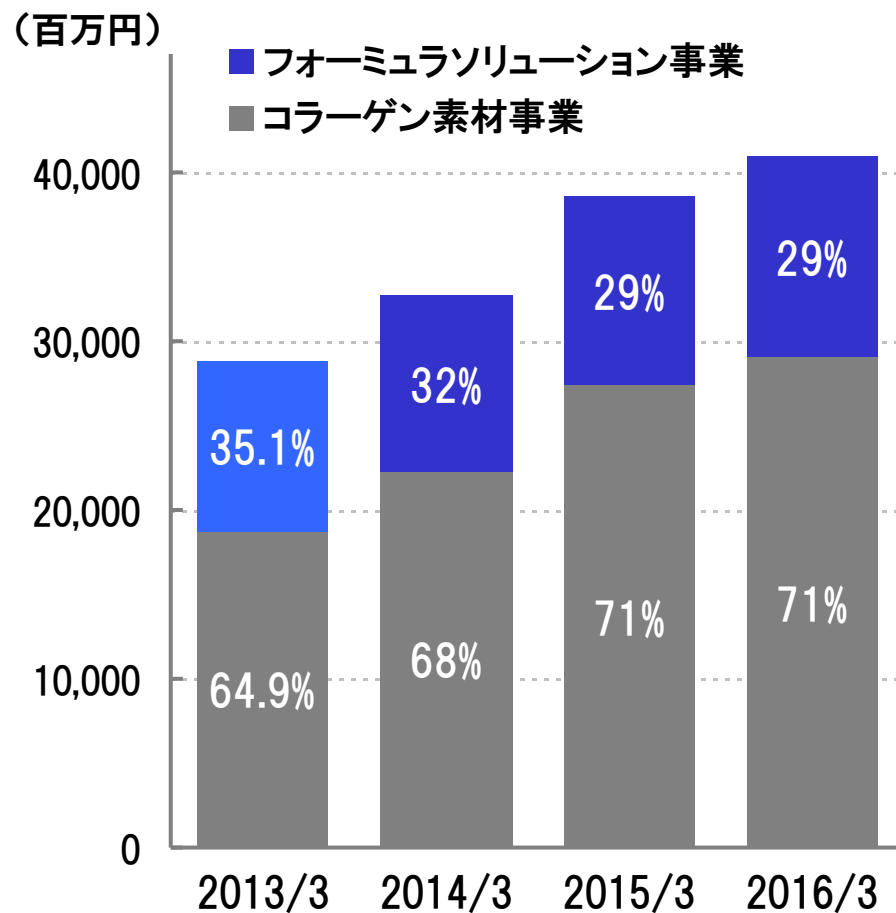
海外売上比率

(百万円)

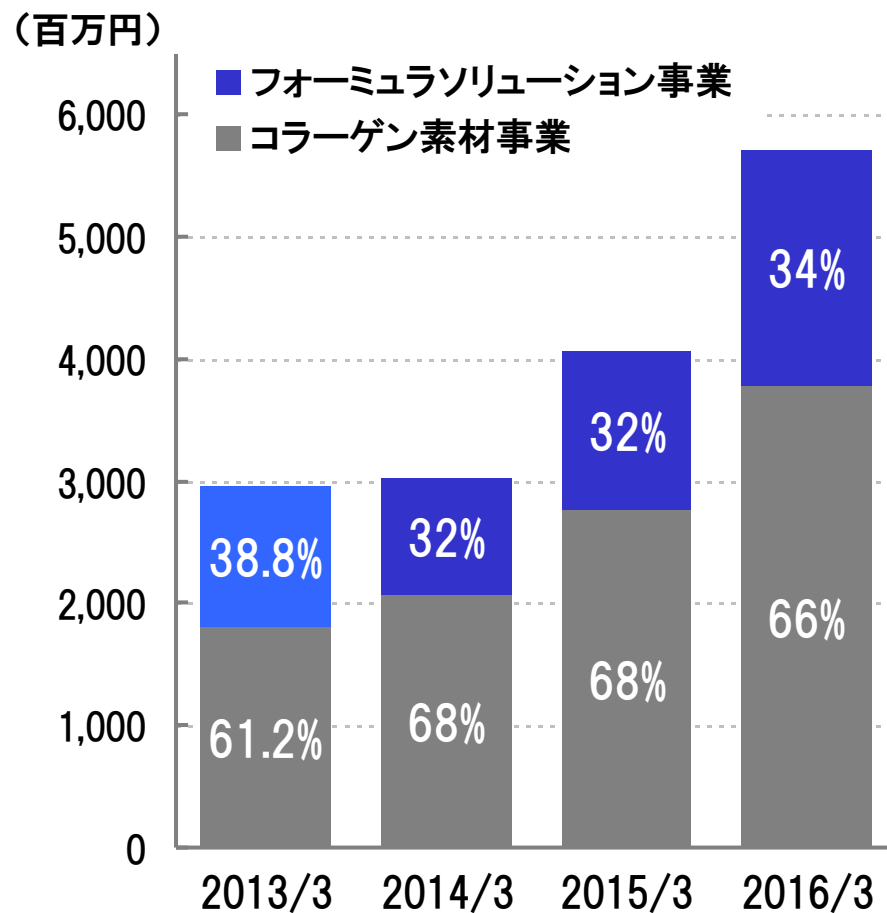


セグメント構成比推移

売上高



セグメント利益



事業戦略

部門	戦 略
ゼラチン	・ グローバルコストの実現による競争力強化 ・ インド関係会社の子会社化 ・ 供給力増強：北米、インドでの増産と新供給拠点強化 ・ 販売拡大：差別化製品開発、新用途開発、新市場創造
ペプチド	・ 供給力の増強と販売拡大 ・ 中国での事業拡大 ・ グローバルブランド「Wellnex」の普及
ケーシング	・ 北米工場の生産性向上と販売拡大 ・ 中国での生産販売体制構築の推進
食品材料	・ アプリケーションラボ機能強化による販売拡大 ・ ベトナムでの事業拡大
接着剤	・ シーリング材のグローバル展開による事業拡大

研究開発戦略(ライフサイエンス)

- ・再生組織工学(DDS、人工骨、人工皮膚 等)用
素材事業の拡大
- ・iPS細胞、ES細胞 等の培養素材の実用化推進

経営管理体制の強化

- 経営の透明性向上
- グローバル経営体制強化:グループITインフラ整備
- グローバル人材育成

設備投資

予定総額:110億円

(2013年4月～2016年3月)

- 米国ペプチド工場建設
- ケーシング事業設備導入
北米工場の生産性向上
中国での生産販売体制整備
- 大阪工場の効率化設備導入
- ゼラチン生産増強設備導入

「アジア圧倒的No.1、 世界オンリーワン」企業へ

ご清聴ありがとうございました



新田ゼラチン株式会社

5. 卷末資料

経営理念

社 是

愛と信を基盤とし
最高の技術と
最大の活力により
社業を発展させ
もって社会に貢献し
希望ある人生をきずこう



ハンドブック

(経営理念、中期経営計画、行動指針)

起業の歴史

新田長次郎

20歳で松山から単身大阪へ

製革工場に奉公する

類なき熱意と工夫、起業

新田帯革製造所

動力伝導用
革ベルトを
日本で初めて製造

革ベルト製造用タンニン調達

カシワ樹皮を求め
北海道に広大な
原野を購入、開拓
(伐採、植樹、牧地・農地化)

事業拡大と多角化

皮以外のゴムベルト製造

ベルト製造副産物の
牛皮片等から
「にかわ」を製造

タンニン製造副産物の
カシワ樹幹材や雑木から
合板(ベニヤ板)を生産

伐採後の平地は牧畜業に

新田ベルト
ニッタ(株)

1885年
明治18年

新田ゴム工業

1914年
大正3年

新田膠質工業
新田ゼラチン(株)

1918年
大正7年

新田ベニヤ
(株)ニッタクス

1919年
大正8年

新田牧場

1948年
昭和23年

“ゼラチン”と“2つのコラーゲン”

高分子

分子の大きさ

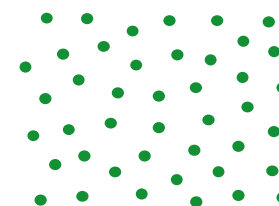
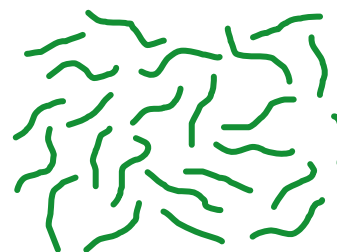
低分子

コラーゲン

ゼラチン

コラーゲン
ペプチド

アミノ酸



特性

皮膜形成能
保水性
美肌・美容効果

ゲル化性
保水性、起泡性
皮膜形成能

タンパク強化
骨・関節・皮膚

用途

ケーシング
化粧品
高度医療

食品、医薬品
写真材料
高度医療

食品
健康食品
医療

市場変化への対応

機能性ペプチド
医療用ゼラチン・コラーゲン

2010年代 シニア向け食品：嚥下食
タンパク食

2000年代 総菜:コンビニ総菜・デザート
医薬品・健康食品:カプセル

1990年代 菓子：グミ、ソフトキャンディー

1980年代 銀塩写真：写真フィルム、印画紙

1960年代 マイクロカプセル:感圧紙

1918年 にかわ・ゼラチンの製造開始：マッチ、レコードジャケット

食用・医薬用
ゼラチン

コトハ

コラージュ

ニカウ・工業用ゼラチン

沿革

1918年	大正7年	1月	日本で初めてゼラチン・にかわの製造を開始
1935年	昭和10年	1月	大阪工場竣工
1945年	昭和20年	2月	新田膠質工業株式会社を設立 [1960年 新田ゼラチン株式会社に変更]
1968年	昭和43年	2月	彦根ゼラチン株式会社を設立 (現 連結子会社)
1971年	昭和46年	3月	接着剤事業部発足
1974年	昭和49年	8月	食材事業部発足
1975年	昭和50年	4月	Nitta Gelatin India Ltd. (インド)を設立 (現 関連会社)
1979年	昭和54年	7月	Nittta Gelatin NA Inc.(米国)を設立 (現 連結子会社)
1982年	昭和57年	4月	ボスティック・ニッタ株式会社を設立 (現 関連会社)
1990年	平成2年	5月	Nitta Gelatin Canada, Inc.(カナダ)を設立 (現 連結子会社)
1996年	平成8年	8月	Nitta Casings Inc.(米国)を設立 (現 連結子会社)
			Nitta Casings (Canada) Inc.(カナダ)を設立 (現 連結子会社)
1998年	平成10年	4月	株式会社アイビスを設立 (現 連結子会社)
1999年	平成11年	1月	Nitta Gelatin India Ltd. (インド)でゼラチン製造工場竣工 (現・関連会社)
2004年	平成16年	4月	株式会社アルマコーポレーションを設立 (現 連結子会社)
2004年	平成16年	9月	株式会社ニッタバイオラボを設立 (現 連結子会社)
2004年	平成16年	12月	Nitta Gelatin Holding, Inc.(米国)を設立 (現 連結子会社)
			Nitta Gelatin USA, Inc.(米国)を設立 (現 連結子会社)
2010年	平成22年	12月	広東百維生物科技有限公司(中国)を設立 (現 関連会社)
2011年	平成23年	9月	上海新田明膠有限公司(中国)を設立 (現 連結子会社)
2011年	平成23年	12月	東京証券取引所市場第二部上場
2012年	平成24年	3月	Nitta Hong Kong Ltd.(中国)を設立 (現 連結子会社)
2012年	平成24年	9月	北京新田膠原腸衣有限公司(中国)を設立 (現 連結子会社)
2012年	平成24年	12月	東京証券取引所市場第一部上場
2013年	平成25年	1月	Nitta Gelatin Vietnam Co., Ltd.(ベトナム)を設立 (現 連結子会社)

当社の特徴

- ゼラチンシェア

国内 ▶ トップ、世界 ▶ 第4位

- 成長する3本柱

ゼラチン、ペプチド、ケーシング

- グローバルネットワーク

北米・アジアに事業拠点、販売網を構築

- ソリューション^{リョク}力

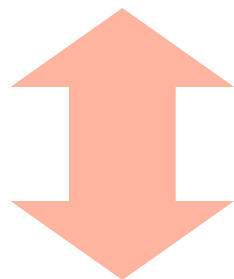
アプリケーション開発・提案

高機能樹脂(シーラント)の開発

当社の成長戦略

国内戦略

**新製品開発
新市場開拓**

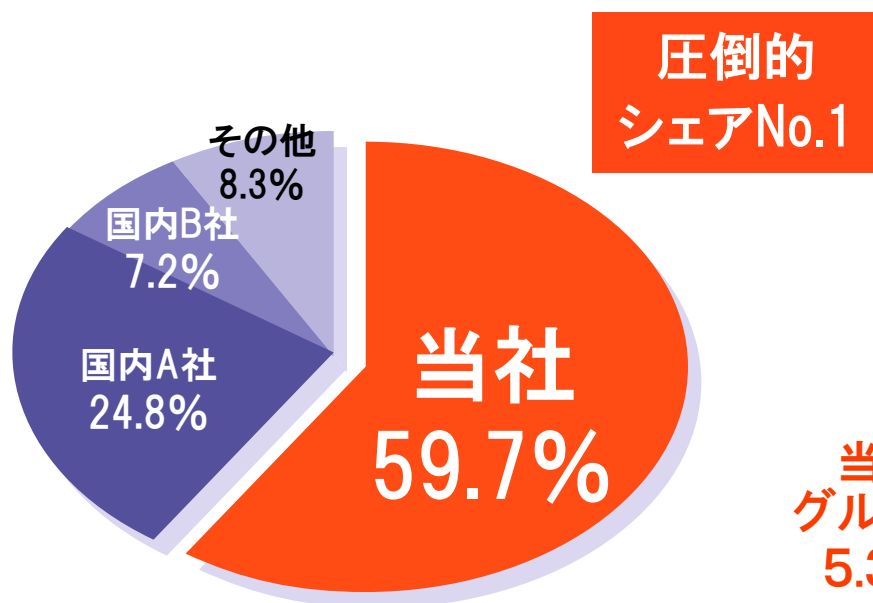


海外戦略

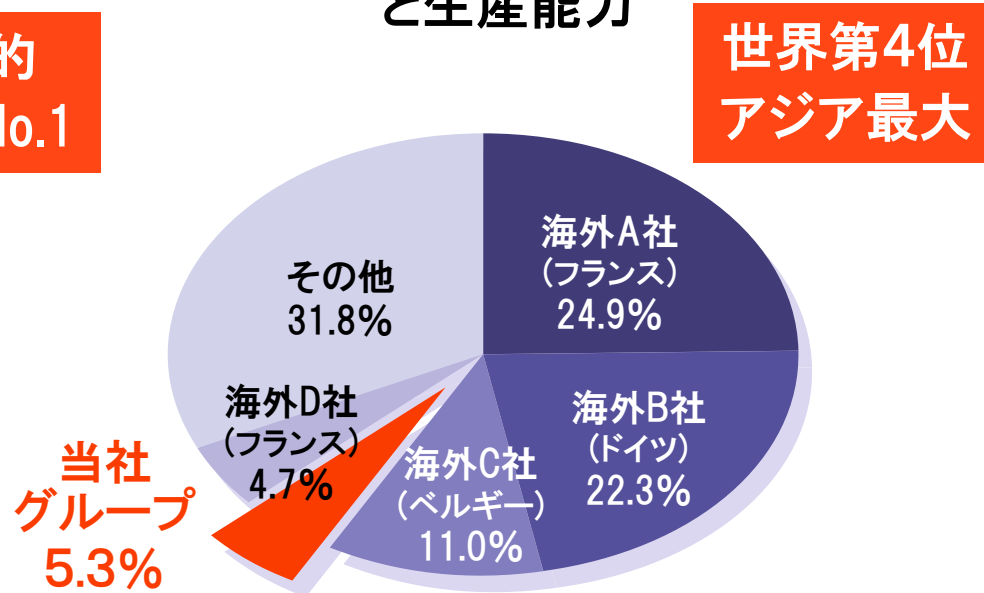
**アジア・北米
での事業拡大**

ゼラチンシェア

日本でのゼラチン販売量



世界のゼラチン製造者と生産能力



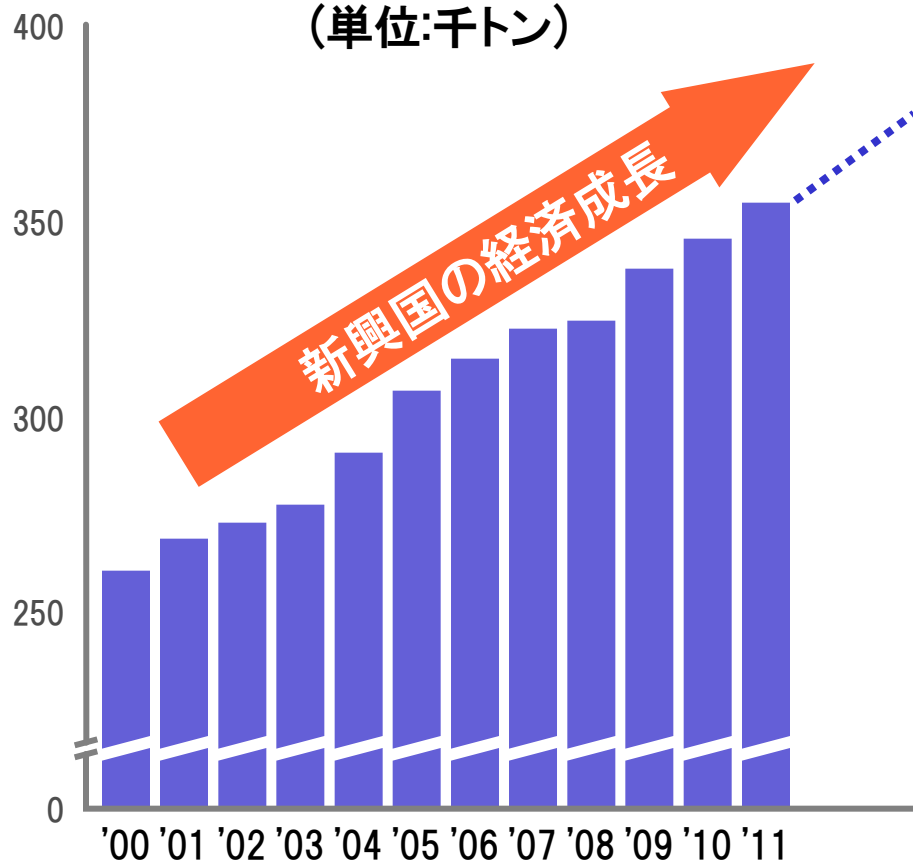
出典:『日本ゼラチン・コラーゲンペプチド工業組合』(2012年3月期)
欧州ゼラチン工業組合、環太平洋ゼラチン工業組合資料を当社で集計

- 国内A社： 皮革関連、非皮革関連(ゼラチン部門、コラーゲン部門)、その他で事業展開。ゼラチンの一貫生産を取りやめ、国内外の協力工場で委託生産。
- 海外A社： グローバルフードカンパニーの1事業部門
- 海外B社： ゼラチンおよび周辺事業特化型企业
- 海外C社： 国際化学品メーカーの1事業部門

ゼラチンは古くて新しいグローバルニッチ製品

世界のゼラチン生産動向

(単位:千トン)



出典: 欧州ゼラチン工業組合、
環太平洋ゼラチン工業組合資料を当社で推計

2013年3月期決算説明会資料 (2013.5.16)

国内総生産(GDP)と相関

アジア圏の経済成長

ゼラチン需要拡大

アジア主要国の経済成長率推移

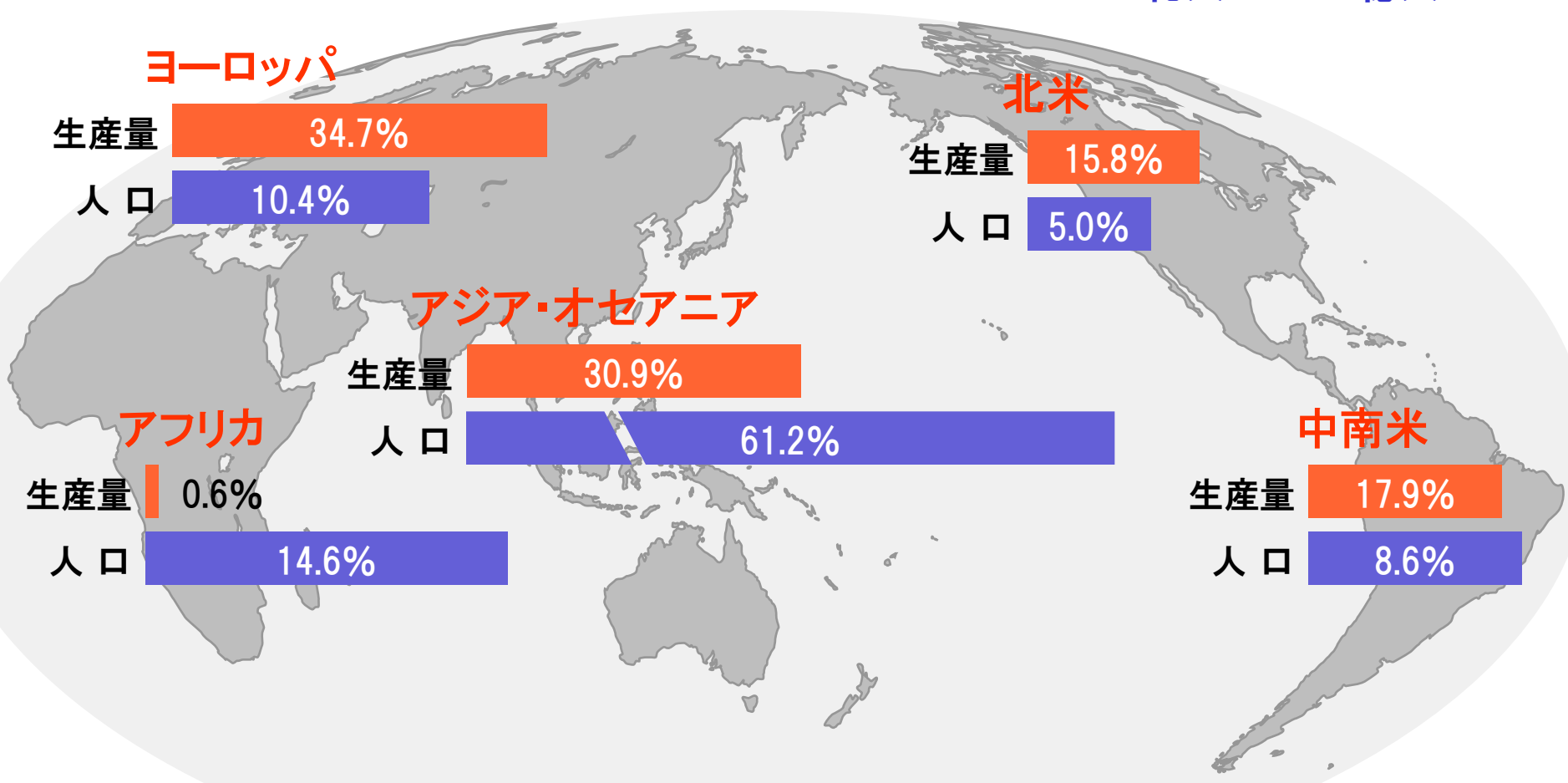
国名	人口 (100万人)	2010	2011	2012 予測
中国	1353.8	10.4	9.2	7.8
インド	1223.2	10.1	6.8	4.9
インドネシア	244.5	6.2	6.5	6.0
ベトナム	90.4	6.8	5.9	5.1

出典: IMF-World Economic Outlook 2012.10

ゼラチン地域別生産量(2010年)

総生産量:34.6万トン

総人口:68.3億人



生産量:新田ゼラチン推定値

コラーゲン素材事業＝原料調達力

食肉産業の副産物



ゼラチン10,000トン

ご参考

日本のと畜頭数
(2009年度)

牛 → 120万頭

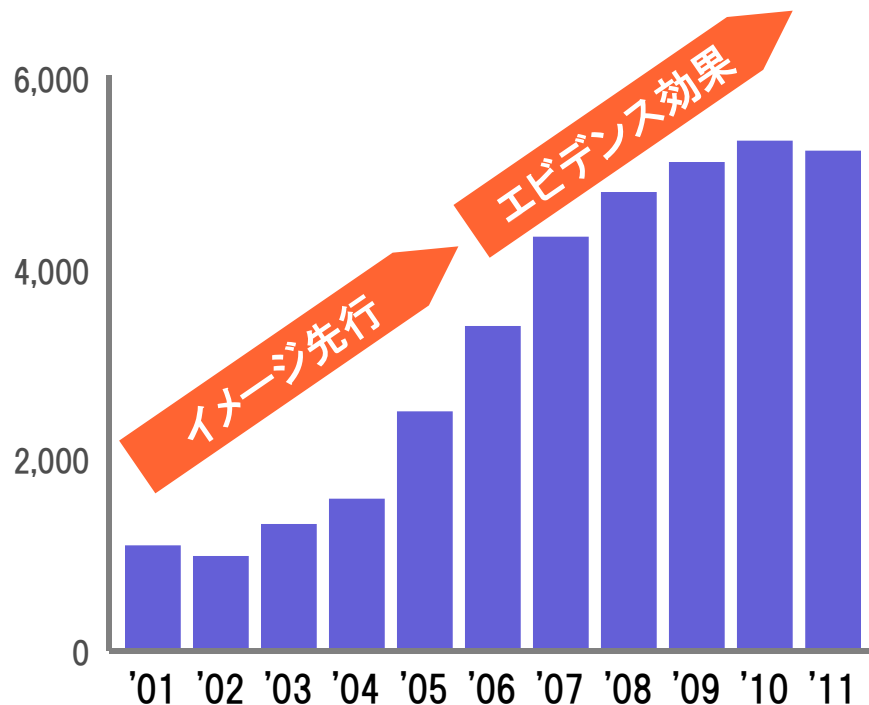
豚 → 1,600万頭

日本の養殖魚数
(2008年度)

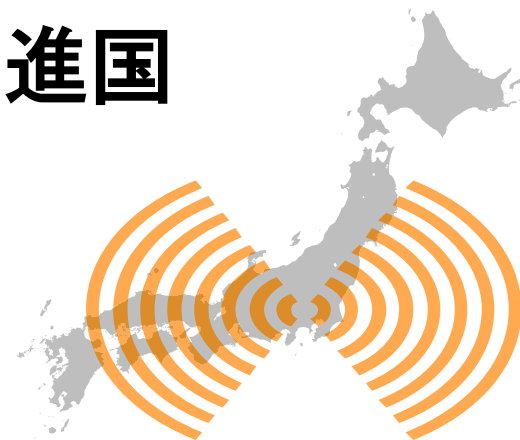
16億匹分

コラーゲンペプチドは日本が先進国

日本におけるコラーゲンペプチド
販売量推移 (単位:トン)



出典:『日本ゼラチン・コラーゲンペプチド工業組合』



日本は世界への情報発信基地



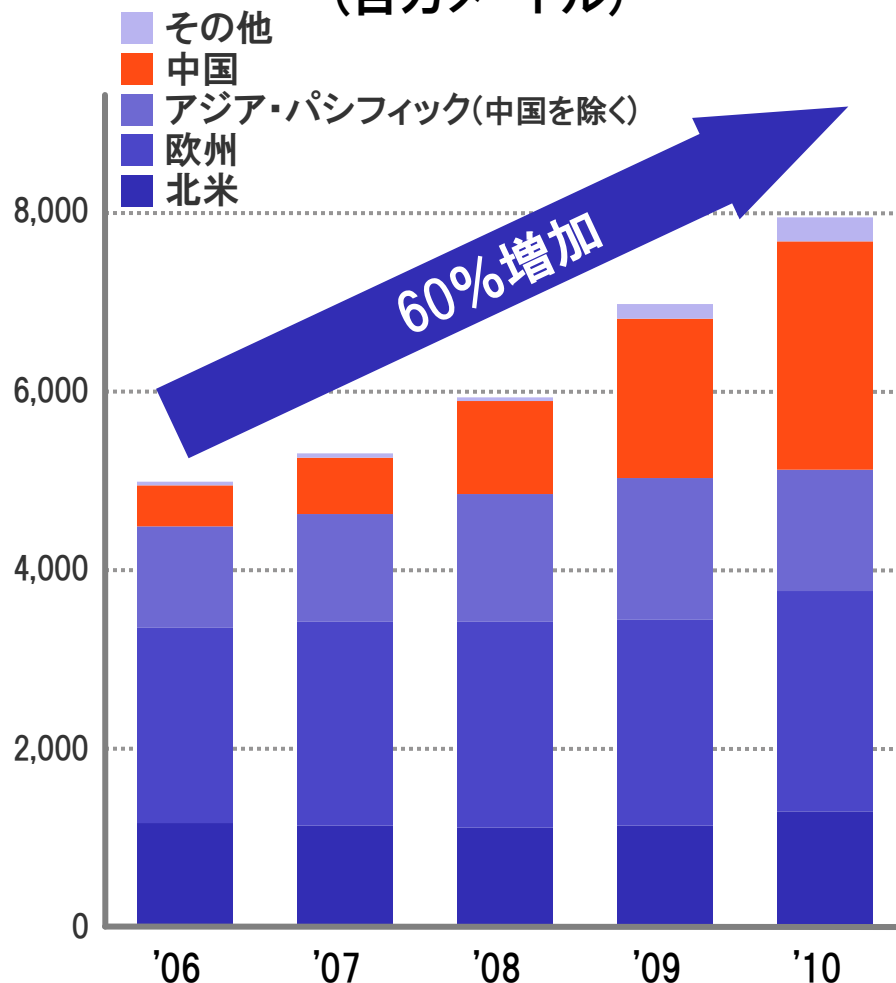
機能性研究: 骨・関節・皮膚への効果

城西大学 真野 博 教授 著

日本流通産業新聞
2011.01.01

コラーゲンケーシングの市場拡大

コラーゲンケーシング生産量
(百万メートル)



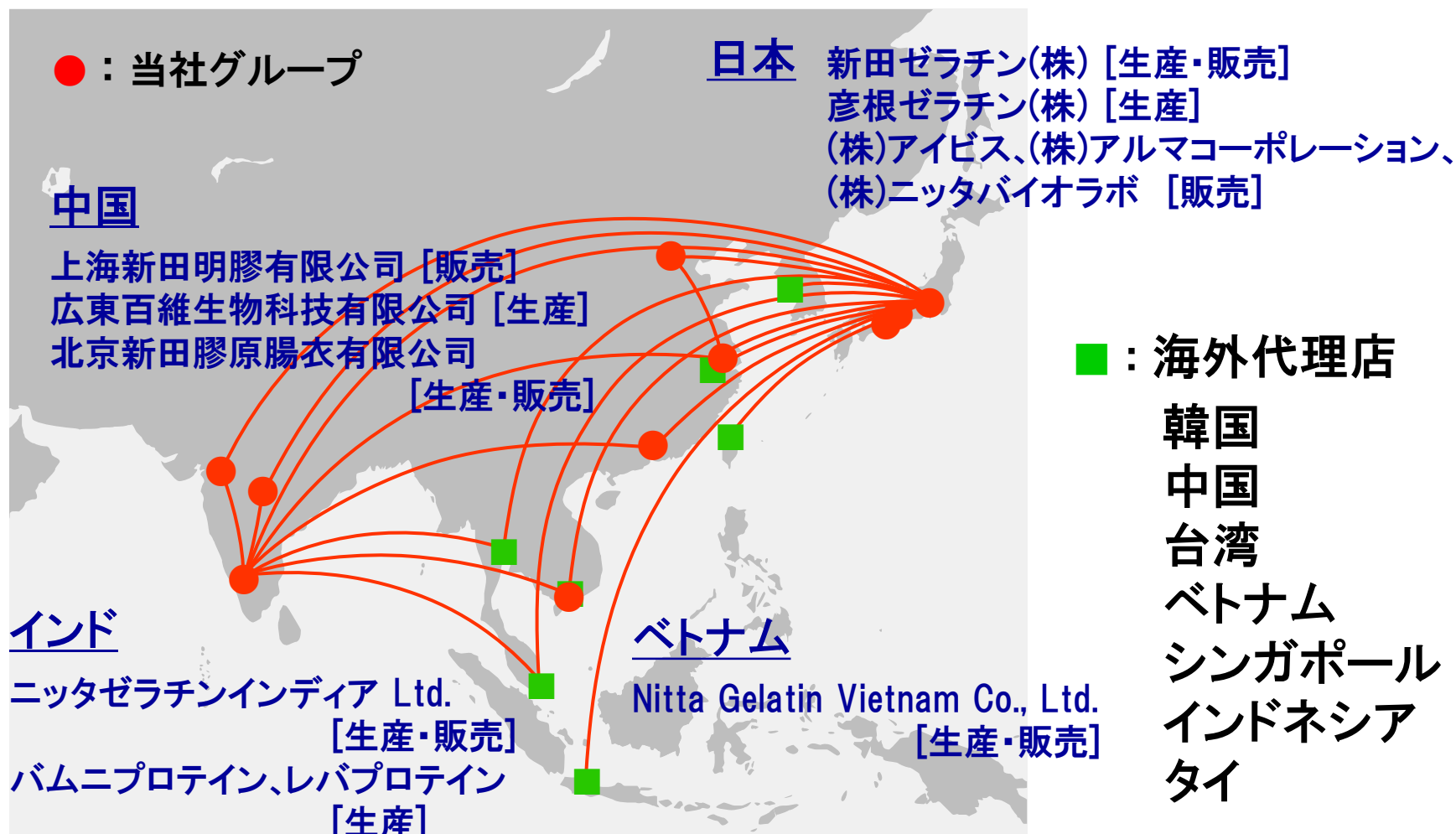
コラーゲンケーシング



ソーセージ製造

アジアフォーカス

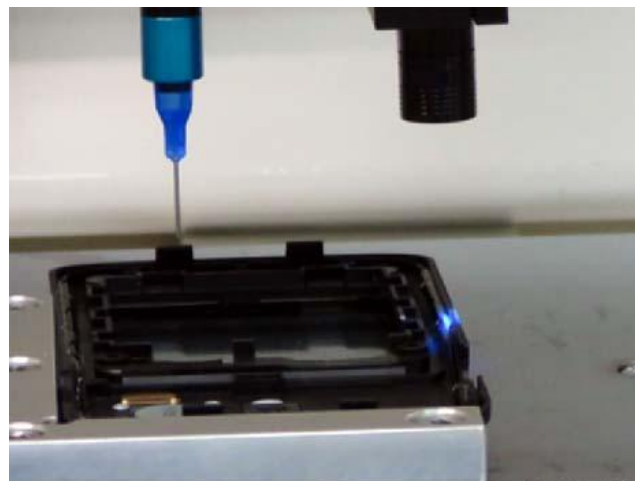
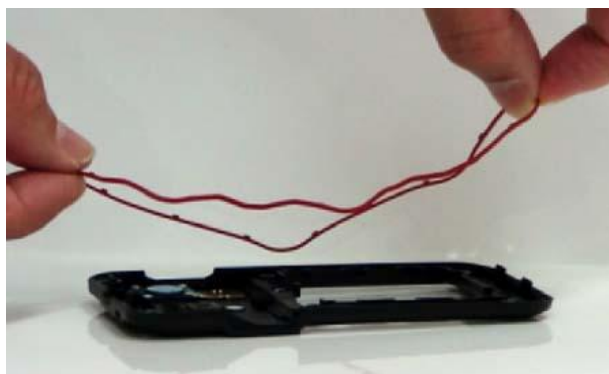
アジア圏(9ヶ国)での事業拡大の基盤は整備済



シーラント革命 [シーリング材]

ロボットによる自動塗工

従来:手作業

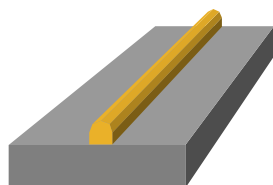


シーラント革命 [シーリング材]

ガスケットサイズ

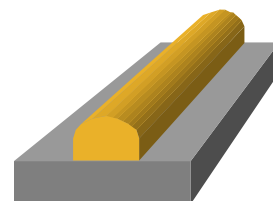
1mm

4mm



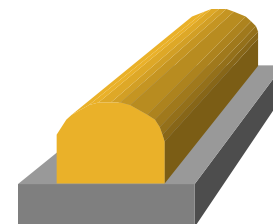
CIPG

デジカメ
スマホ



UVFG

ガスメーター
LED照明



FIPFG

配電盤
自動車ドア

UV照射硬化型

2液反応
硬化型

非発泡型

発泡型

タイプ名
用途例

シーラント革命 [シーリング材]



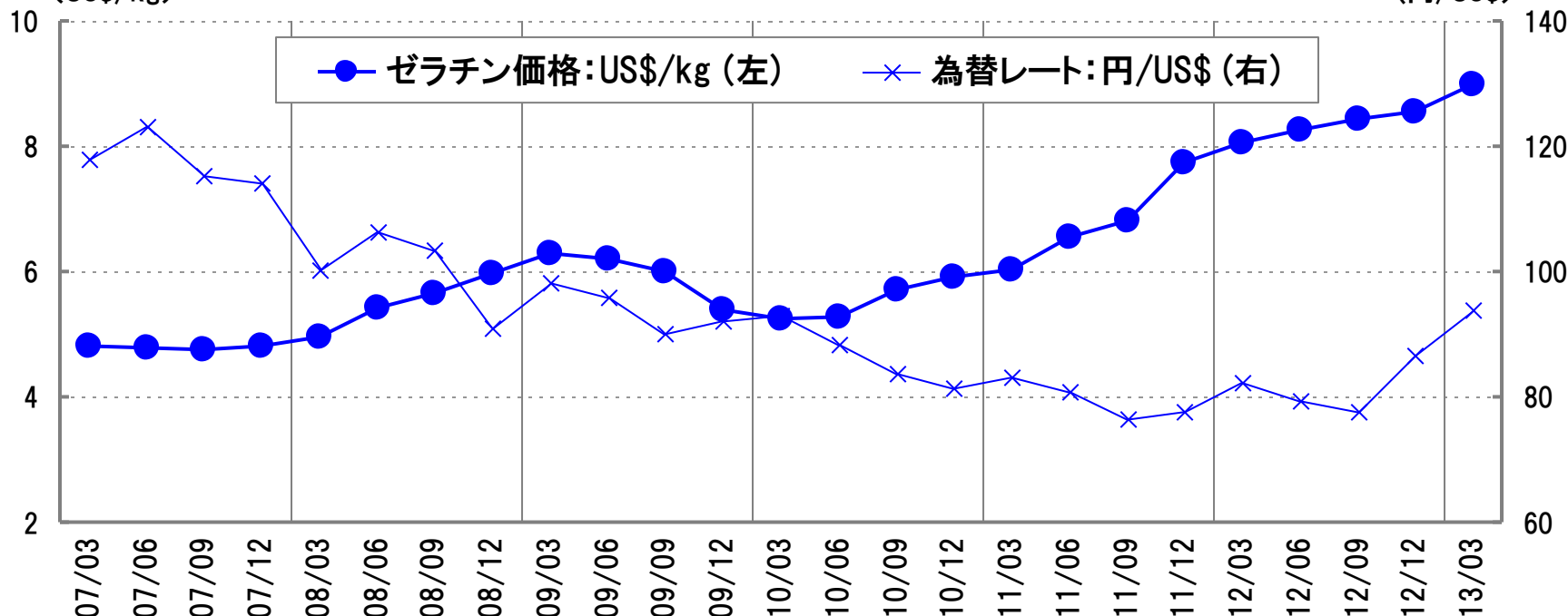
スマートメーター

今期外部環境の認識

- ゼラチン国際価格は、需要増加、原料タイトを背景に高止まり
- 円安への移行
- 中国、インド等、アジア諸国の経済成長は堅調に推移し、ケーシング、ゼラチン、ペプチドの需要は伸長

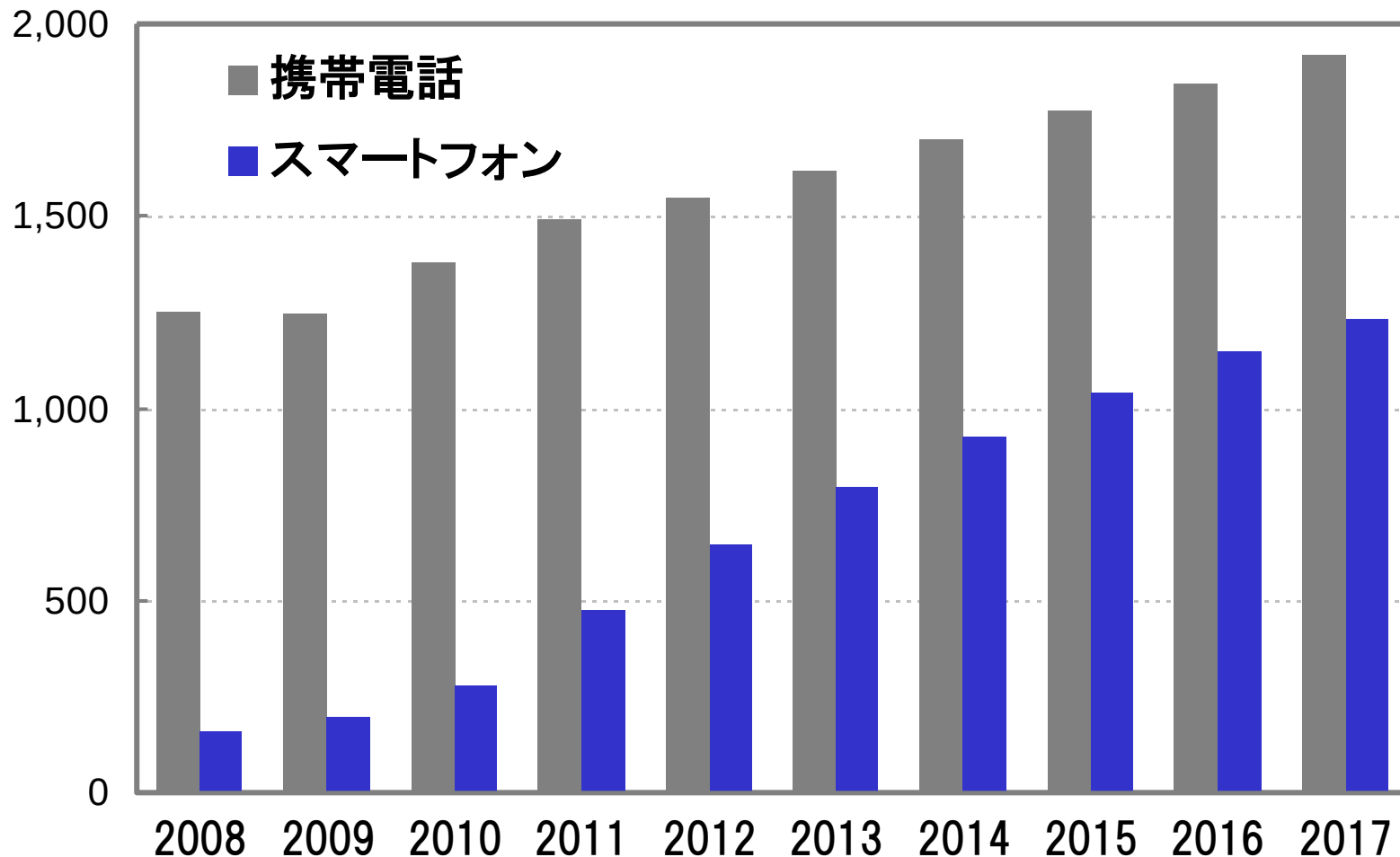
ゼラチン価格
(US\$/kg)

期末レート
(円/US\$)



世界の携帯電話市場予測(出荷台数)

(百万台)



出典: 矢野経済